

コード	40204
作成年度	22年度

基本事業評価表

基本事業名称	畜産の振興
--------	-------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	農林業の振興

課コード	115	関係課名
主管課名	農林課	

基本事業の目的

優良な雌牛に更新することにより、繁殖雌牛群の整備をし、品質の向上と子牛価格の安定化を図るとともに、助成事業を実施し、経営の安定化を図ることにより畜産の振興を目的とする。

基本事業の成果

成果指標名称 1	繁殖雌牛頭数	成果指標名称 2	*****
成果指標の積算根拠	繁殖雌牛頭数(実績)／目標	成果指標の積算根拠	*****
目標達成年度	平成21年度	目標達成年度	*****
目標達成数値	119	目標達成数値	*****

年 度		H18	H19	H20	H21	H22
成果指標1	目標 A	頭	119.0	119.0	119.0	119.0
	実績 B	頭	80.0	94.0	102.0	100.0
	達成率 B/A	%	67.2	79.0	85.7	84.0
成果指標2	目標 A					
	実績 B					
	達成率 B/A	%				

1次評価	現状	増頭推進をしているが、農地の確保が難しく、飼料作物の作付けが不足している。その為粗飼料不足を野草に頼っているが、冬時期の栄養が不足しがちである。経営安定化を図るため、農業振興奨励事業で優良雌牛導入事業、家畜疾病対策事業、子牛生産奨励事業、家畜共済加入奨励事業、流通対策事業等を実施している。
	課題	町やJAの事業を利用した増頭・更新の推進。夏・冬時期の優良な粗飼料(牧草)利用を図るため、優良農地確保と飼料作物作付作業の省力化ができる永年性飼料作物等の推進を図る上で、畜産農家の誘導が課題である。
	改善	五島家畜市場の結果を検証することにより、優良な粗飼料の必要性を農家へ理解してもらいながら、耕作放棄地等の解消を図り、飼料作物の作付けを推進する。また早期水稲収穫後の再生稲の有効利用、永年性牧草の普及も図る。増頭・更新についても、事業の有効活用等によりJAと共に推進を図る。

2次評価	優良牛の品質、価格の安定化を図るため、平成21年度は子牛価格の変動に対する補助制度も拡充している。引き続き課題とされている飼料の関係においては、休耕地の有効利用に積極的に取り組み、畜産農家の生産性を向上させ、経営の安定化に努めること。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。